

Dに切り替える場合、1基あたり4万円かかりますので、切り替え費用と節電効果等を検証しながら順次進めていきたい。

Q ふるさと納税については、全国的に各自治体で様々な策を講じて納税額を増やしているが。

A 去年の7月から5品目の返礼品を用意し、PRをしてきました。今までに51万円の寄附をいただいています。返礼品は2万円以上を納税した方

に差し上げていますが、例えば、1万円からにするなど検討したい。

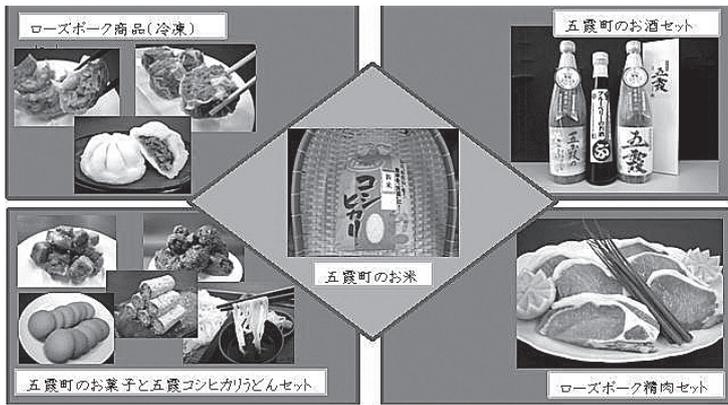
Q ごみの収集運搬事業費が増えた原因は。

A 一般収集ごみの量が若干ですが増えています。また、運搬にかかる人件費・燃料費等も上昇しているためです。

Q 川崎市で中学生殺害事件があり、今後は防犯カメラを充実させていくことも重要なのではない

か。設置についての考えを伺う。

A 実際にとどの程度、どこに設置すれば有効なのかといったことや経費等についてよく精査して方向性を考えていきたい。



ふるさと納税の返礼品

Q シルバー人材センターが法人化され、事業として非常に前進していると思うが、



昨年の柴又100Kマラソン

に伴う橋脚の一部ひび割れ、主桁の損傷等が見られることから、起ころうる直下型地震等に備え、それらを補修するため調査設計をするものです。

Q 国民健康保険の一般会計からの繰入金で、法定外の繰入金はどのくらいか。

A 繰入金予算のうち、法定外の繰入金が4,800万円あります。これについては県内44市町村のうち42市町村がそれぞれ実施しています。この繰り入れによって、保険税を少しでも抑えるといったお金になっています。



耐震工を行う環境浄化センター

会員数は伸びているのか。

A 推移を申し上げますと、平成22年度は79名、23年度は82名、24年度は110名、25年度は164名、26年度(12月末)は183名というところで、順調に増えている状況です。

Q 町の自然や道の駅を生かしながら交流の幅を広げ、多くの人があるまちを目指していかなければ、若い人に住んでもらえないのでは。

A 五霞町を知ってもらうためには、いかに交流人口を増やすかというこ

とが重要だと思えます。そういう意味で、柴又100Kマラソンは一つのきっかけになると思います。27年度は町内を走るコースが設定されています。これらをきっかけに、もう一歩進んだ交流を進めたい。

Q 冬木橋等の補修調査設計について業務委託料が980万円計上されているが、どの程度の補修を考えての予算なのか。

A 国のガイドラインにより5年に1回の橋梁点検をしています。老朽化

Q 国民健康保険における共同事業拠出金とは、どういったものか。

A 共同事業の拠出金とは、いわゆる県内全ての市町村で構成する保険と同じような仕組みです。拠出金は、実際にかかった過去3年間の医療費等をもとに算出します。そして、医療費が多くかかったところには多く交付金が配分され、少ないところには、少なく配分されるといった保険機能を備えた制度です。

Q 国民健康保険の一般会計からの繰入金で、法定外の繰入金はどのくらいか。

Q 公共下水道事業の耐震工事と浄化センターの水処理施設の更新で2億円を超える予算になるが、これからの見通しは。

A 耐震工事に関しては、今回の工事で終了します。また、水処理施設の長寿命化は、優先順位をつけて、今後5年間の概算事業費で7億円を考えています。なお、この5年が終わった後に、再度見直しをしまして提案していく予定です。